

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

(341)

気候変動や窒素循環 食品の違いは、油脂感 など地球環境への影響 や濃厚さという感性評 が大きい動物性食品 価において顕著であ を、現在の規模でエネ ルギーや資源を投じて 消費し続けることの持 続可能性が問われてい る。こうした背景か ら、植物性食品の活用 を広げる動きが世界各 地で起こっている。食 の変容は容易ではない が、人の感覚やAI (人工知能) を活用し た食料開発が進められ ている。

植物性食品 開発

人の感覚・AI活用

「満足感」を追求 動物性食品と植物性 ない「満足感」のある 植物性食品を目指した 研究開発が進められて いる。 二製油社では、成分で 従来の食品の組成を はなく感覚を同じにす トアップ企業であるN otCoは、自社で開 発したAIモデルによ 除く手法が多く用いら ころして開発された り課題解決を図ってい



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター フェロー(ライフサイエンス・臨床医学ユニット) 小泉 聡司 東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。化学メーカーにて新規事業の研究開発に従事。20年から現職。ライフサイエンス・生物生産分野の俯瞰調査・政策提言の作成に従事。博士(農学)。

「満足感」のある 産業界では いる。

植物性食品を さまざまな検討が進め 研究開発が進められて きた。例えば不

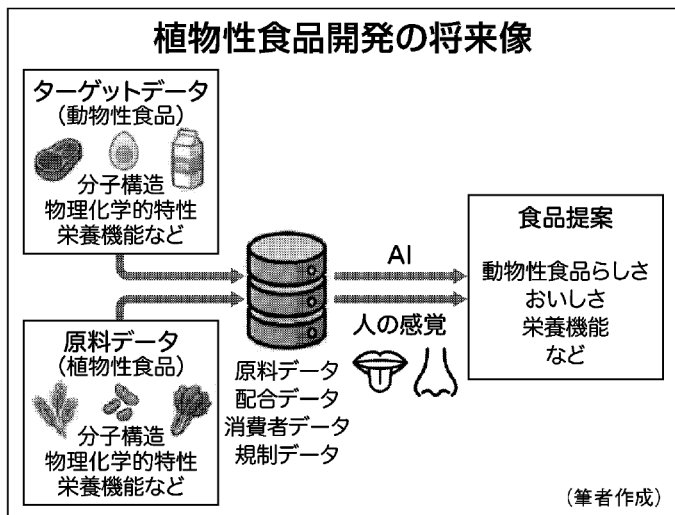
データ生かす

二製油社では、成分で 一方、チリのスター

分析し、足りない成分を 重視したアプ otCoは、自社で開 発したAIモデルによ

を、現在の規模でエネ ルギーや資源を投じて 消費し続けることの持 続可能性が問われてい

植物性食品開発の将来像



消費者アータなどの情 報も盛り込まれてい る。この膨大なデータ を活用し、パイナップル とキャベツからミル クの風味を創出するな ど、従来にはない原料の 製品を使わないミルク などを展開するととも に、世界の大手食品企 業との提携を進めてお

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

また、中南米向けに 動物由来原料を使わな いハンバーガーや、乳 日本に蓄積されてい る多様なデータを 整備してAIを活用 し、従来の官能評価と 組み合わせることで食 料開発を進める時代が 近づいてきていると考

(金曜日に掲載)